



正しく効果的な使い方を学び、実践する力を

校長 矢崎 真理

今年は長い長いコロナ禍にあって、9月末までの緊急事態宣言の延長に伴い、夏休み明けの分散登校を1か月にわたって過ごしてきました。本来の学校生活ではなく各学級半数グループでの学習を行うことは、子どもたちにも「この事態は非常事態で、さらに的確な感染症対策を続けなくてはならないのだ。」ということが伝わり、一人ひとりがしっかりと自覚した行動を取ることができていました。

仲よしの友達に会えないという場合もあって学級としての活気がしぼむような分散登校でも、視点を変えれば、少ない人数でお互いがよく見渡せて、じっくり物事に取り組む雰囲気生まれました。教職員も、一人ひとりの様子をしっかりと捉えることができ、学習指導も落ち着いて丁寧にできました。今までとは違って、置かれた現実の中で、見方、考え方を柔軟にして対応していくことで、良さを感じ取り、効果を上げることができるのだと教えてもらった1か月だったように思います。分散だからできたこと、分散でしかできないことを各学級、学年、学校で計画して実践してきたこの1か月だと思っております。その中の一つの取組である、「オンライン朝の会」へのご家庭のご協力に感謝いたします。

夏休み中の東京で5000人を超える、神奈川でも3000人を超える1日当たりの感染者が出た時には、これからどうなってしまうのだろうと思いましたが、10月を前にして、100人台の感染者数に落ち着き、いよいよ通常の登校になりそうです。みんなが、できる限り慎重に行動して、第6波が来るのをできるだけ長く回避できれば、これから予定されている運動会や4年生のバレー鑑賞、5年生の体験学習、6年生の修学旅行など、大きな行事が実施可能になります。

今言われているのは、昨年、うがい・手洗いをとても丁寧に実践したことから、インフルエンザの感染がほとんどなかったため、インフルエンザへの免疫がないとのことです。ひょっとすると、今後インフルエンザも猛威をふるい、昨年度全くなかった学級閉鎖や学校閉鎖に繋がるのではないかとということが心配されます。けれども、この2年以上にわたるコロナウイルス感染症対策で、多くのことを学び、実践し、学校でのクラスターを起こしていない実績から、これからも地道に繰り返す「マスクの着用、手洗い、うがい、換気、3密を避ける、消毒」の取組を、これからも緩めることなく続けていくことで、安全で安心な岸谷小学校に、し続けたいと思います。ご家庭では、通常登校になっても引き続き、体調管理としての検温を確実に行っていただき、体調の変化をいち早く捉えていただき、具合が悪い予兆（軽い風邪症状）があったら登校を控えていただくことを、ぜひともご協力ください。それが、大勢の命を救うことに繋がりますので。

今回の緊急事態に伴い、学校より貸与しているiPadについて、子どもたちはそれぞれの発達段階に応じてiPadを学習ツールとして有効に活用しており、その上達ぶりも目を見張るものがあります。しかし、自宅に持ち帰ったときに学習以外の目的で使用したり、深夜に及んで使用したりしている子が、少しですが見られました。

学校では、iPadの適切な使用方法や注意事項などを子どもたちに指導してきました。これからも引き続き適切な使用について指導を重ねてまいります。ニュースなどで言われているようなオンライン関係での事件・事故に巻き込まれないよう、モラルを守った正しい効果的な使い方ができるようにしていきます。ご家庭におかれましても、これまで同様、お子さんが学習目的で適切にiPadを使用しているかどうかについて、学校と同じようにお声掛けいただき、同じ歩調で対応していただくよう、ご協力をお願いいたします。公教育でのICT整備は、ハード面もソフト面も、まだ発展途上にあるのが実情です。ご不便をおかけすることもあると思いますが、無理せず徐々に浸透・拡充を図っていきます。次の緊急事態宣言下や休校措置などには、またiPadを持ち帰り、家庭での使用になりますが、10月からは基本、学校での学習についての利活用になりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。



分散登校の様子



【音楽の授業で】

3年生から6年生の音楽では、感染症対策のために、歌唱やリコーダー奏は行わず、鍵盤楽器等で音楽づくりに取り組んでいます。



ディスタンスを保ちルールを守りながら、仲間と楽しく安全に活動しています。変化のある面白い曲作りができました。



オンライン朝の会



9月28日（火）から4日間、AグループとBグループがそれぞれオンラインで在宅にて朝の会に参加しました。健康観察では、元気よく返事をして、久しぶりにクラス全員、集合できたように思えました。また、朝の会以外でも、それぞれのグループの元気な様子を、動画を通して確認するクラスもありました。1か月間、分散登校で学級の半分の友達と過ごせませんでした。タブレットを有効活用して楽しい時間を過ごすことができました。



学校カウンセラー 教育相談のご案内

学校カウンセラーの徳永先生による教育相談を実施しております。相談を希望される方は、担当前田までご連絡ください。

10月11日（月）、15日（金）、18日（木）
28日（木）、29日（金）



各学年の様子



【1年】 なつを たのしもう！

生活科の学習で、子どもたち自身が考えた夏の遊びをしました。砂遊びや水遊び、虫取りなど思い思いの夏を楽しみました。夢中になって夏遊びをするなかで、遊び方を工夫したり協力したりする素敵な姿がたくさん見られました。



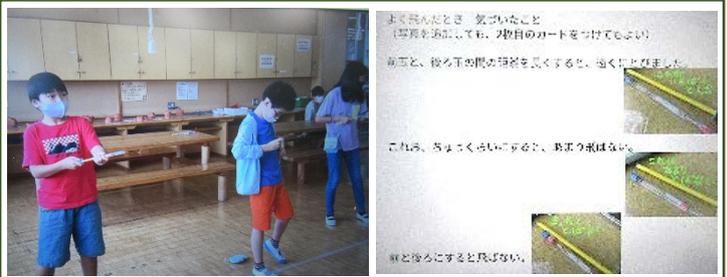
【2年】 学校司書 佐藤先生の読み聞かせ

図書室が緊急受入れの受け入れ場所となっており、図書室に行けないため、教室にて佐藤先生による読み聞かせとブックトークを行いました。静かに集中して聞く姿に、子ども達の健やかな成長には本が必要であり、読書は心の栄養であると感じました。読書の秋に向けて、休みの日には鶴見図書館に足を運んでみるなど、読書に親しんでみてはいかがでしょうか。



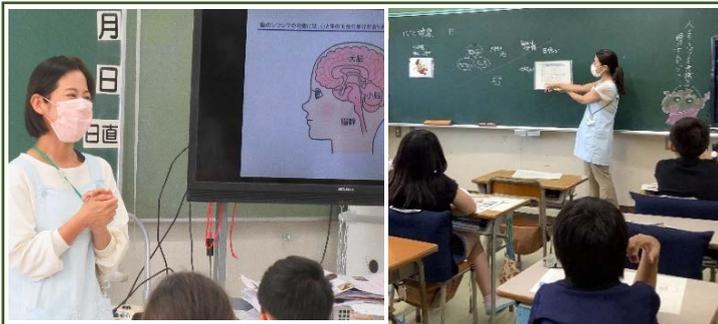
【3年】み近なしぜんの形・色

図工の学習では、校庭で見付けた「お気に入りの葉っぱ」をじっくりと観察し、自然の形や色を絵の具で表現しました。絵の具を混ぜて、自然に近い色を表そうと試行錯誤しながら活動を進めました。色鮮やかな緑の作品に仕上がりました。



【4年】とじこめた空気について調べよう

4年生の理科では、閉じ込めた空気や水の性質について学習します。閉じ込めた空気を利用した空気鉄砲で遊ぶ中、気付いたことを慣れた様子でロイロノートを使って共有していきます。「中の空気は縮んでいるのかな」「押し返してくると思う」という予想をたてた子どもたち。今後は予想を確かめるための実験をし、水の性質についても考えを広げていきます。



【5年】心はどのように発達するの？

保健の学習では、小さい頃の自分と今の自分を比べて成長したことを考えました。養護の中島先生から、心の成り立ちについての授業を受けました。授業の中で、心のはたらきは脳のはたらきによるものだと分かりました。また、今の自分があるのも、これまで関わってきてくれた人のおかげだと気付きました。



【6年】私もあなたも大好きなまちへ

総合の学習で、まちの活性化について考えています。この日は、生麦盛り上げ隊の隊長を務める松野さんをゲストティーチャーとしてお招きしました。松野さんの生麦・岸谷のまちにける熱い思いやこれまでの苦労にふれて、「自分たちも何かしたい。」と動き出しています。子どもたちのユニークなアイデアで、自分もまちの人たちも大好きな場所へ！



【5組】オンラインでつながろう

「ロイロノートスクール」を使ってカードを先生に送ったり、音読を録音して共有し合ったりしました。また、「グーグルミート」を使って画面上で先生や友達と繋がり、ハンドサインやジャンケンなどをしながらオンラインでのやりとりを楽しみました。子どもたちは端末の使用に慣れるのがとても早く、みんな意欲的に取り組んでいます。

朝の検温を忘れずに！

新型コロナウイルス感染症の症状は、発熱しないケースもありますが、発熱した場合は、まずはコロナウイルス感染を疑い、感染拡大を予防していくことが大切です。具体的には、体調が少しでも悪い時には外出を控えるなど、感染を防ぐ意識をもつ必要があります。また、できるだけ早期に発熱を発見するためには、毎日なるべく同時刻に体温測定をしっかりと行うことが大切です。みんなで協力して感染予防をしていきましょう。

養護教諭 中島